

## 何でも読もう会

書物名	『プールサイド小景』 庄野潤三	開催 日時	2022.10.4	推薦	大塚
巻・章	全編			出席者	6名
<p>前回同じ作者の『愛撫』を読んだ流れで取り上げた。『愛撫』を下敷きにして出来た作品らしいというので、読み比べた。</p> <p>賢い妻とダメ亭主の構図は同じ。会社の金を流用して追い込まれたところも似ている。Sさんが、両作品の比較表を作成して紹介してくれた。</p> <p>『愛撫』の方が良いという声も。『プールサイド小景』は軽いという訳だ。それが作者の特徴だから良しとする声も上がって議論が続いた。</p> <p>会社生活の中の一コマなど、感性の鋭さがうかがえる描写を指摘する声も。</p> <p>作者らは「第三の新人」と呼ばれ、都会の小市民生活に題材を取った作品が多い。軽いのは最初から承知のうえで執筆しているのだろう。</p> <p>しばらく同世代の芥川賞受賞作品を読む予定である。</p>					